

平成 26 年 6 月 11 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2010～2013

課題番号：22242016

研究課題名(和文) 宗家文書を素材とした分散所在大名家史料群の総合的研究

研究課題名(英文) A general research of Daimyo's historical materials which exist in some different places.-An example of So family's documents.

研究代表者

鶴田 啓 (TSURUTA, Kei)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：10172066

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 37,100,000円、(間接経費) 11,130,000円

研究成果の概要(和文)：本研究で取り上げた「宗家文書」は江戸時代の対馬藩の文書である。現在は複数の機関に分散して所蔵されており、また各機関独自のフォーマットでデータ化されている。それらの研究利用を促進するため、各機関の既存システムやデータをできるだけ生かしながら横断検索を実現することをめざした。東京大学史料編纂所・国立国会図書館・九州国立博物館・長崎県立対馬歴史民俗資料館の関連データベース情報を事前に比較し、検索対象とする項目の割り当てを慎重に行って検索システムを作成して横断検索のテストを行った。その結果、実用上問題が無い検索結果が得られることを確認した。

研究成果の概要(英文)：The "So family's document" we focused in this research is the documents of the domain of Tsushima in the Edo period. Today those documents are owned by two or more organizations, and used by the original format of each organization. We aimed at realizing crossing search, employing the existing system and data of each organization efficiently as much as possible, in order to promote those research use. We assigned carefully the fields to make applicable to search. And we checked that the search results which are satisfactory practically were obtained.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・史学一般

キーワード：史料学 史学 日本史

### 1. 研究開始当初の背景

旧対馬藩(宗家)の文書は江戸時代の大名家本研究が研究対象としている宗家文書は、現存している近世の大家家文書群としては有数の規模を持っている。また、規模の大きさのみではなく、大家家文書が作成される中心的な機関である藩庁と江戸藩邸双方の文書が残されている点も特徴としてあげることができる。さらに対馬藩が持っていた朝鮮との外交担当という特別な位置によって、日本国外である釜山倭館において作成された文書も残されており、他の大家家文書群とは大きく異なる特徴も有している。

江戸・対馬・釜山それぞれで作成・利用された藩の文書は、近代以降の様々な経緯を経て、分散的に所蔵されている。大きく分けると、日本国内・韓国内(韓国国史編纂委員会)の2つであり、日本国内においても以下の6ヶ所に分散している。長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵分は、対馬藩庁で作成された文書と釜山和館(倭館)で作成された文書の一部であり、『毎日記』をはじめとする冊子、および一紙物など推定約7万2千点にのぼる。九州国立博物館所蔵分は、宗家の許に保管された文書であり、御内書や老中奉書を中心に約1万4千点である。東京国立博物館所蔵分は、江戸藩邸作成の文書であり、約1600点である。国立国会図書館所蔵分は、釜山和館の文書であり、『館守毎日記』をはじめとして、約1600点である。慶應義塾大学図書館所蔵分は江戸藩邸の文書であり、通信使記録を中心に約1000点である。東京大学史料編纂所所蔵分も江戸藩邸の文書で、『江戸藩邸毎日記』など約2500点である。韓国国史編纂委員会所蔵分は、外交に関係の深い文書を旧朝鮮総督府が選んで購入した文書であり、朝鮮礼曹から宗家へ宛てた書契など約2万8千点である。

このように、大規模な文書群である上に藩政時代のまとまりを一定程度残しながら現在に伝わっている宗家文書について、データベース化の促進と横断検索システムの研究・構築により、研究利用の進展をはかることを考えたものである。

### 2. 研究の目的

宗家文書は全7ヶ所に分散して所蔵されているが、長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵分については、文書数が最大であるとともに整理作業中であるため、データベースの作成推進など、重点的な対象とする。本研究で作成する横断検索システムに含み、直接の研究対象とするのは、まず長崎県立対馬歴史民俗資料館・国立国会図書館・東京大学史料編纂所の3館所蔵分とし、可能であれば九州国立博物館等にも対象を拡大する。

本研究の横断検索システムの構築により、所蔵機関の枠を越えた検索が可能となる。これにより、宗家文書全体を対象とした時系列のあるいは並列的な検索が行えるようにな

り、宗家文書の伝来・管理の研究や史料相互の関係、藩政機構内外での政策処理システムなどの解明に大きな進展が見られることが期待できる。すなわち、新たな藩政史研究のための技術的プラットフォームをつくることも本研究の課題である。また本研究で作成する横断検索システムは、インターネットを利用しての検索が可能であり、より一層の利便性の向上が期待できる。また、宗家文書の文化財指定などを契機として、様々な所蔵機関で進められてきたデータ化作業を前提として、宗家文書の全体像の把握を行おうとする点にも本研究の特色がある。

### 3. 研究の方法

まず初年次(2010年度)において、対馬歴史民俗資料館にデータベースサーバを設置し、そのサーバ上に「宗家文庫史料目録データベース」を構築した。

これは同館でPC上に作成中の目録データ(excel形式、csv形式)を利用して、同館内部に設置した複数の端末からの入力校正・検索を可能としたものである。上記目録データは、原史料の属性に従って冊子類・一紙類・絵図類の3種で入力項目が異なっていたため、本データベースもそれに合わせたデータ構成とした。また、次に記す横断検索に対応する機能を持たせた。

この準備過程で史料編纂所(科研グループ)と対馬資料館の間で打ち合わせを行い、史料編纂所サーバのデータベースと対馬資料館の目録データを比較し、それぞれどの項目(フィールド)を検索対象とするのが適切であるか検討を重ねた。

上記の対馬資料館データベースと東京大学史料編纂所サーバに格納したデータベースの横断検索機能を開発した。これは、史料編纂所側システムと対馬資料館システムの間でデータベースの対応項目をあらかじめ設定しておき、検索に際しては自サーバDBと相手サーバDBを対象に検索処理(SQL)を行い、それぞれで得られた結果を自サーバ側からまとめて表示するものとした。インターフェイスはWEBブラウザ利用、検索はキーワード入力、AND検索・OR検索可能、検索結果はデータベースごと(東大・国会・対馬文書・対馬冊子・対馬絵図)に件数表示、画像表示モジュール対応とした。

ついで2011年度においては、九州国立博物館のデータベースを横断検索の対象とするシステム拡張を行った。同館にはすでに公開データベースシステムとして「宗家文書データベース」があり、詳細なデータがWEBから参照できるようになっていた。このため、同館のシステムにできるだけ手を加えることなく横断検索が可能になるよう、同館のデータベース管理者と協議を行った結果、理解と協力をいただくことができた。すなわち、九国博データベースの項目情報とWEBブラウザ用に九国博サーバが書き出すHTML文を元

に史料編纂所システムのプログラムが「解釈」を行い、横断検索を行うようにした。対馬資料館サーバから横断検索にアクセスした場合にも、史料編纂所サーバの機能呼び出して使用し、同じように横断検索の結果が得られるようにした。

2011 - 12 年度においては、史料編纂所では検索テスト、対馬資料館ではデータの登録と検索を行いながら、不具合が判明した点についてはシステムの改修を行い、セキュリティ関係の機能追加を行った。

2013 年度においては、史料編纂所サーバの経年を考慮し、史料編纂所メインシステム内に用意された仮想サーバ領域に本データベースシステムをそのまま移設する仮想サーバ化改修を行った。

#### 4. 研究成果

本研究で取り上げた「宗家文書」は、複数の機関に分散して所蔵されており、また各機関独自のフォーマットでデータ化されている。それらの研究利用を促進するため、各機関の既存システムやデータをできるだけ生かしながら横断検索を実現することをめざした。

東京大学史料編纂所では所属史料目録データベースのサブセットを作成し、これに国立国会図書館の承諾を得て同館で既に公開しているデータを加えて研究用データベースとした。これと長崎県立対馬歴史民俗資料館で PC 上に作成していた目録データを元にしたデータベースとの横断検索を実現した。また九州国立博物館で公開中のデータベースを対象とした横断検索を実現した。

これらの実現に当たっては、各データ（未データベース化の場合）・データベース（既存データベースがある場合）の項目情報を事前に入手し、それらがどのような意図で作成されているか理解し、どの項目を検索対象とすればより良い検索結果が得られるか検討を行った上で項目の割り当てを行うことの重要性が確認できた。

また相手機関の了解を得て HTML 文の解析を行うことが必要になるが、既存の公開用データベースに全く手を加えることなく、横断検索の対象にできることも確認できた。なおこの手法では、複数の検索処理を連続して行うことになるが、今回のシステムでは検索機能・表示機能を限定したこともあって、実用上問題が無い検索速度が得られることを確認した。

2013 年度に行った仮想サーバ化では、システムに関わる諸設定が問題なく移行し、移設前と同様に動作することを確認した。

#### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 9 件)

— 渡邊 正男、「宗家判物写」所載文書編年目録稿(続)、東京大学史料編纂所研究紀

要、査読あり、vol24、2014、pp.1 - 50  
— 鶴田 啓、朝鮮時代の韓国と日本、査読無し、景仁文化社(韓国) 2103、pp.240 - 251

— 木村 直樹、近世初期上方の政治情報と豊永賢斎、東京大学日本史研究室紀要別冊 近世社会史論叢、査読無し、2013、pp.329 - 336

— 鶴田 啓、江戸時代後期の公貿易と私貿易、韓日関係から見た倭館、査読無し、景仁文化社(韓国) 2012、pp.247 - 266

— 木村 直樹、三井文庫編『大坂両替店「聞書」一、寛延四年～文化四年』、史學雑誌、査読無し、vol.121、No. 9、2012、pp.96 - 97、

— Naoki KIMURA、The comment to Derek Massarella 'The East India Company, religion and the remote and dark corners of the earth'、British history 1600 - 2000 : expansion in perspective, Edited by Kazuhiko Kondo and Miles Taylor, Institute of historical research University of London、査読無し、2010、pp.59 - 62

— 木村 直樹、18 世紀の対外政策と長崎、18 世紀日本の政治と外交、山川出版社、査読無し、2010、pp.163 - 191

— 木村 直樹、露米会社とイギリス東インド会社、日本の対外関係 6 近世的世界の成熟、吉川弘文館、査読無し、2010、pp.151 - 170

— 渡邊 正男、「宗家判物写」所載文書編年目録稿、東京大学史料編纂所研究紀要、査読無し、vol20、2010、pp.1 - 24

〔学会発表〕(計 5 件)

— 鶴田 啓、こんなに面白い宗氏研究、長崎歴史文化博物館特別展開連講座(招待講演) 2013 年 11 月 4 日、長崎歴史文化博物館(長崎県長崎市)

— 木村 直樹、宗家史料と連携検索について、対馬歴史民俗資料館企画展「日朝交流の奇跡 - 対馬宗家文書 8 万点の調査を終えて」関連講座(招待講演) 2012 年 10 月 14 日、対馬市交流センター(長崎県対馬市)

— 鶴田 啓、江戸幕府の外交政策と外交使節、韓日関係史学会大会(招待講演) 2012 年 5 月 18-19 日、江原大学校(韓国・江原道春川市)

— 鶴田 啓、江戸時代後期の公貿易と私貿易、韓日国際学術会議「韓日関係から見た倭館」(招待講演) 2011 年 11 月 12 日、ソウルレキシントンホテル(韓国・ソウル特別市)

— 鶴田 啓、徳川政権と東アジア、U B C (University of British Columbia) summer workshop、2010 年 8 月 27 日、UBC(Vancouver, Canada)

〔図書〕(計 1 件)

— 木村 直樹、通訳たちの明治維新、吉川  
弘文館、2012、208

〔その他〕

史料編纂所側システムの入口

<https://cliiosk.hi.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/soke/control.cgi> (認証あり)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

鶴田 啓 (TSURUTA, Kei)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：10172066

### (2) 研究分担者

横山 伊徳 (YOKOYAMA, Yoshinori)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：90143536

小野 将 (ONO, Sho)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：70272507

渡邊 正男 (WATANABE, Masao)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：80230994

箱石 大 (HAKOISHI, Hiroshi)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：60251477

木村 直樹 (KIMURA, Naoki)

東京大学・史料編纂所・助教

研究者番号：40323662

荒木 裕行 (ARAKI, Hiroyuki)

東京大学・史料編纂所・助教

研究者番号：70431799

福留 真紀 (FUKUTOME, Maki)

長崎大学・教育学部・准教授

研究者番号：60549517